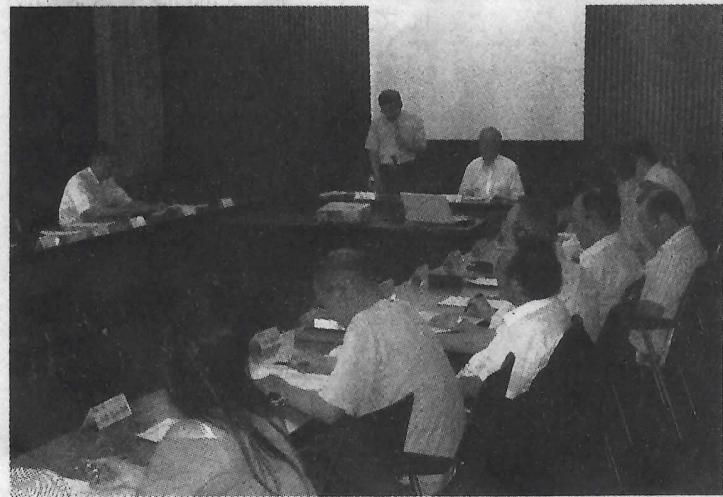


「次」の話し合いに

気仙沼内湾 まちづくり協 浮上式堤防を断念

気仙沼市中心部の内湾地区の復興再生を考
える「内湾地区復興ま
ちづくり協議会」(勝
倉敏夫会長)の会合が
13日、気仙沼市役所で
開かれた。海岸防波堤
を必要としない「浮上
式防波堤案」の採用を
断念し、別の策で復興
へのスピードを上げ、
にぎわいあるまちづく
りを急ぐことと一致し
た。



内湾地区の再生について話し合った

上で、「知事から『実
証のないものに対し
ことができない』など
の理由が示され、採用
が相当難しいことが分
かった。協議会として
話が進まないで断念
せざるを得ない」と
語った。

委員の一人は「とて
も残念。早く決まらな
いと予算が付かないな
という県知事に屈し
た」と肩を落とした。

菅原茂市長は「委員
長の話を聞いて、多く
の委員が次のステップ
に移ることで納得した
と思う。できない理由
を村井知事の答弁だけ
で判断し、採用を断念
できない。覆ることは
ないと思うが、市とし

て浮上式防波堤のさら
なる検証をしていきた
い」と述べた。

協議会では今後、堤
防ありきで検討する方
針だが、6・2㍉の堤
防高をどういった方法
で確保するかが課題と
なる。

南町地区委員は「断
念することに異を唱え
る人はいなかった。防
潮堤が決まらないと次
の話し合いができない
。防潮堤とまちづく
りを平行してより良い
まちづくりを進めてい
きたい」と話した。

この日の会合では、
内湾地区の公共施設の
考え方について、消防
屯所の本復旧について
は検討中だが、旧柔剣
道会館跡地に車両格納
用の仮設テントを建設
することなどが示され
た。